

夏休み中の タブレット端末の活用について

府中市では、学校及び家庭でタブレット端末を活用し、子供たちが様々な課題を解決するために必要な力を身に付けることを目指しています。夏休み中のタブレット端末の活用例を紹介します。

1 タブレット端末の機能やアプリケーションを活用しましょう。

◇スプレッドシートで学習時間のグラフやオリジナル〇〇ノートをつくってみる

スプレッドシートを使って、夏休み中の家庭学習の時間の合計や、最長学習時間などをグラフや表にまとめることができます。週末等にグラフを見ながら取り組み状況を振り返ることは、充実した家庭学習を進めるうえで効果的です。

また、読んだ本のタイトル、著者、一言感想などを記録して、自分だけの読書ノートなども作ってみましょう。



◇英語のデジタル教科書等を活用してみる

小学校5年生以上に導入されているデジタル教科書には、音声読み上げ機能（読み上げ速度の調性ができます。）があります。教科書の本文等の音読を聞き、音声に合わせて声を出すことで、英語を聞くことや読むことの練習になります。



◇Google スライドを使ってデジタル絵日記を作ってみる

| 日記のタイトル | 〇月〇日 |
|---|-------|
|  | _____ |
| | _____ |
| | _____ |
| | _____ |
| | _____ |

Google スライドを使って、その日の出来事等を記録したり、写真を挿入したりしてデジタル絵日記を作成することができます。自由研究のレポート、アサガオなどの植物の観察記録や、家庭科の調理レシピの作成などにも活用することができます。

スライドの作成が難しい小学校低学年は、Google Jamboard（ジャムボード）を使って作成することもできます。

2 eライブラリアドバンスで学習してみよう。

多彩な機能とAI型ドリル、豊富なコンテンツにより、子供たちの「主体的な学び」をサポートする学習支援サービスです。小学校1年生から中学校3年生までの9学年分のドリル教材が利用でき、子供たちは習熟度に応じて構成された問題を解くことなどができます。

◇一人一人の興味・関心に 応じた学びができる

確認テストの結果から、苦手分野、得意分野など、一人一人に適した問題が示され、お子様の状況に合わせた学習ができます。



◇豊富なコンテンツを使うことができる

プリント教材には、各教科単元別に収録されたプリントや、最新10年分の公立高等学校入試問題（47都道府県、国語、社会、数学、理科、英語の5教科あります。）など豊富に掲載されています。



生成AIの取扱いには注意をお願いします。



「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(令和5年7月4日 文部科学省)参照⇒

文章や画像を自動で作り出す「生成AI（人工知能）」は、今後、子供たちを含めた社会全体に一層浸透することが予想されます。これからの時代を生きる子供たちには、生成AIの特性を理解するとともに、こうした新しい技術によってもたらされる情報の真偽を見極めるなどリテラシーが求められます。

生成AIの利用に当たっては、**年齢制限・保護者の同意等の利用規約**があり、保護者の方を含めた大人が生成AIについて理解を深めることが重要です。

*1 生成AIの利用 — 学校から配布されているタブレット端末では、生成AIを利用することはできません。

*2 利用規約 — 「Chat GPT」は13歳以上、18歳未満は保護者の同意が必要。「bing chat」は成年、未成年は保護者の同意が必要。「bard」は18歳以上。

生成AIの取扱いについて

生成AIは、子供たちの知識や思考力が十分に身に付いていない状態で使うことにより、不正確な回答を信じてしまったり、自ら考える場面やより深く考える機会を逸してしまったりする可能性が指摘されており、その取扱いには十分留意する必要があります。

利用における一般的な留意点

- ① 生成AIは、もっともらしく見えても、**不正確または無意味な回答を作成**することがあります。
- ② 質問として入力した情報が他の回答に利用される可能性もあり、入力された**個人情報や機密情報等が第三者に流出する危険性**が懸念されます。
- ③ 生成した文書等に他者の著作物が含まれる可能性があり、生成物の使い方によっては、**著作権侵害になる恐れ**があります。

生成AIを使用する上での留意点

生成AIの使用は、子供の発達の段階や実態を踏まえ、年齢制限・保護者同意等の利用規約を守ることを前提に、生成AIの使用が適切かどうか、判断することが重要となります。

使用が適切でないと考えられる例

- 自由研究や調べ学習など、テーマに基づき調べる場面などで、教科書や学習図鑑、百科事典（ブリタニカ・スクールエディション等）などの質の担保された教材を用いる前に安易に使うこと。
- 各種コンクールの作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出すること。
- 詩や俳句の創作、音楽・美術等の表現・鑑賞など、子供が感性や独創性を発揮する場面、自分なりの感想をまとめる場面などで最初から安易に使うこと。

夏休み中の課題等に子供たちが取り組む際の留意点について

夏休み中に、保護者の方と一緒に生成AIを体験したり、活用について話し合ったりすることは、子供たちが生成AIについて知る機会につながるものと捉えております。一方で、子供たちが読書感想文や人権作文、校内及び校外のコンクールの作品、レポートなどの課題について、生成AIによる生成物をそのまま自己の作品として応募・提出することは適切ではありません。読書感想文や人権作文などで、生成AIを安易に利用してしまうと、**活動を通じた学びが得られず、自分のためにならない**という懸念もあります。

子供たちが、タブレット端末を適切に活用し、夏休み中の家庭学習及び自主学習等の充実を図っていただきますようお願いいたします。